

IV. 文化財保存・整備事業

令和2年度に係る事業は、美術品の修復1件、建造物関連事業2件、歴史資料調査事業1件、史跡等の整備に係る事業3件、名勝・天然記念物保存事業2件、文化財保存活用地域計画の作成を実施している。

1. 有形文化財・民俗文化財

(1) 収蔵資料補修事業

令和2年度の収蔵資料補修事業は、令和元年度に引き続き練革黒漆塗白糸威五枚胴具足修復について実施したいと思います。合同会社大西漆芸修復スタジオと修復について協議。

久留米藩最後の藩主有馬頼咸が所有する甲冑で、制作は江戸時代末期である。革製、黒漆塗である。練革とは水で濡らした革を型に押し当て、乾燥させて成形したもので、刀などで簡単には切れない軽くて丈夫なものである。本品は兜鉢や胴、籠手など、通常は鉄で造られる部分まですべて革で作られた、軽くて丈夫な甲冑である。胴や袖の裾に貼られている白い毛は山羊の毛で大変珍しく、漆や飾金物の黒色と威糸、毛の白色の対比が美しい。鎧櫃が附属している。

ア) 現状

全体に汚れが目立つ。鎧櫃は過去の補修跡に、紫外線に反応をする漆以外の塗料が見られる。埃が溜まっている。鎧櫃は、汚れが付着し、打損箇所があり、補修に漆以外の塗料が塗られている。

・兜については、塗膜剥離・剥落がみられ、素地である革の収縮に伴い、兜鉢の塗膜全面に亀裂が生じ、剥離・剥落が生じている。また、筋兜状に装飾された筋部分は、こより・革・鯨の鬣などの材料が使用されていることが考えられるが、素地の収縮に伴い歪んでしまっている。兜前方全面に亀裂がある。全面に塗膜亀裂、塗膜剥離・剥落、筋の歪みあり。

五枚胴については、素地である革の収縮に伴い、五枚胴に施されている竜の高蒔絵に亀裂が生じ、大きな剥離が生じている。剥離の危険性が非常に高い状態である。高蒔絵の全体が剥離し、亀裂が生じている。この他、高蒔絵の剥離・塗膜の剥落、高蒔絵の亀裂、剥離が認められる。

その他、忍緒は表面が劣化し、繊維が広範囲に落ちている。全体に打損などによる欠損が見られ、欠損部周辺の塗膜剥離・剥落が見られる。

イ) 修復方針

現在、我が国で行われている指定文化財漆工芸品の保存修復に則り、現状保存修復を原則として行うこととする。修復に際しては、十分に事前調査を行い傷みの現状を確認した上で修復工程を決定する。

X線CT調査を実施して兜や五枚胴の構造を確認する。使用材料を調査し損傷原因を考察した上で、適切な処置方法を改めて検討する。必要に応じ蛍光X線分析、マイクロスコープ観察等の調査を行う。また、写真撮影を伴った修復の記録を取り、修復後と比較できるようにし、修復終了後報告書を作

成し提出する。修復中に方針を変更する際には、適宜所有者と協議を行い決定する。

ウ) 修復仕様

事前調査ではX線CT調査を実施し、作品の現状を確認した上で改めて修復処置内容の検討を行う。検討会では甲冑製作の豊田勝彦氏とともに処置方法を検討し、安全に修復作業を実施するために五枚胴の解体・組み立て作業も担当をしてもらう。

忍緒は表面の繊維が劣化をしているが、補強処置ができないため現状のままとする。落ちた繊維は集めて別途保管をする。

クリーニング作業では、漆塗膜に傷が入らないように柔らかい毛棒で塵や汚れを払い落とす。漆塗膜に付着しているカビ汚れは、柔らかい木綿布に極少量の水分を与えたもので少しずつ拭きとりながら除去作業を行う。必要に応じ弱いアルコールを使用した除去も行うが、高濃度での使用は行わないこととする。カビ汚れの下には、漆塗膜上に時代を感じさせる経年の汚れが残されていることから、必要以上にクリーニング作業は行わないこととする。鎧櫃の補修で塗られた黒色塗料は、溶剤を使用し可能な限り除去を行う。

兜の剥離塗膜の接着では、塗膜接着用に調合した麦漆を溶剤で希釈をして塗膜下に含浸し、圧着固定を行い塗膜の安定処置を行う。作業上、麦漆での作業が困難な場合は、膠で接着を行う。筋の歪みは、真っ直ぐにする場合は余分な長さを切除する必要があるため、表面の傷を今以上に増やさないためにも現状のままですべて接着安定処置を行う。

五枚胴の高蒔絵剥離箇所では、練革の収縮に伴い元の位置に密着した状態で収まることはできない状態である。そのため、五枚胴との隙間を可能な限り減少させた状態で高蒔絵を塗膜接着用の麦漆で接着安定を行い、隙間に刻苧を充填し高蒔絵の安定処置を行う。鎧櫃の剥離塗膜は、兜の剥離塗膜接着と同様の仕様で接着安定処置を行う。

亀裂部と欠損部に刻苧の充填を行い形態の復元を行う。小欠損部で損傷が拡大する心配が無い箇所については現状のままとする。刻苧箇所に錆漆下地を付けて表面肌を整え、欠損部と周辺漆塗膜との段差を緩和させる。また、触手による再剥落を防止するため、塗膜際に極少量の錆漆下地を付け仕上げる。

エ) 工期

令和元年8月～令和3年3月までの2か年で実施した。九州国立博物館内の文化財保存修復施設6（漆工室）において行った。

(2) 建造物関連事業

①大善寺玉垂宮の石造鳥居修復事業

大善寺玉垂宮の石造鳥居は、元和4年（1618）銘を持つ市内では2番目に古い鳥居で、銘文から筑後国主田中忠政により寄進されたことが判明している。平成19年、市指定有形文化財に指定。昭和9年（1934）に現在地に移されたこの鳥居は、平成17年（2005）の福岡西方沖地震、平成28年（2016）

の熊本地震により柱にズレが生じており、倒壊の危険性も危惧された。このため、解体するとともに組み直し、補強工事を実施したものである。

②歴史的建造物等調査事業

令和2年度は、みずほ銀行久留米支店について記録保存調査を実施した。当店の閉店に伴うもので、建物の今後の見通しが立っていないことから、緊急的に調査を実施することとなった。当建物は大正15年(1926)に竣工した、本市では現存する最古のRC建造物であり、商都久留米を象徴する歴史的建造物である。

2. 記念物

(1) 史跡等の整備に係る事業

①筑後国府跡歴史公園整備事業

令和2年度は、前年度に作成した保存活用計画に基づき史跡地の維持管理を実施するとともに、今後の用地取得に向けた準備を進めた。令和2年度末の公有化面積は、38,789.84㎡(台帳及び実測面積)で、国・市有地を含めると公有化率は、86.16%である。

②史跡下馬場古墳石室内環境調査

前年度から引き続き、保護施設の老朽化による石室内への温湿度の影響と、将来の古墳公開のあり方を考えるための基礎データを取得した。

③史跡等解説板の改修

市内に所在する史跡等の解説板について、老朽化により判読できないものなど4件を改修した。対象は、国史跡「中原狐塚古墳」、市史跡「極楽寺古墳群」、「大塚2号墳」、御使者屋敷の「久留米城下町」である。

(2) 名勝・天然記念物保存事業

①県指定天然記念物「善導寺の大クス」再生事業

平成29年度から、4か年事業として開始した。最終年度の令和2年度は、主幹開孔部の接木治療を実施した。接木治療は、施行予定者がドナー専用育成した地域性樹木4本を用い、主幹開孔部に植栽養生を行い、経過観察後、開孔部の突起部分や各頂点での接木を施術した。

②県指定天然記念物「柳坂曾根のハゼ並木」剪定事業

令和3年2月18日に剪定作業を実施予定であったが、降雪で中止となったため、施肥のみ実施した。

3. 久留米市文化財保存活用地域計画作成事業

社会情勢の変化の中で急速に消滅していく文化財を保護していくため、市町村における文化財の保存活用に関する目標や取組を記した法定計画「文化財保存活用地域計画」の作成が文化財保護法に盛

り込まれた。これを受けて、令和元年度から2ヵ年の国庫補助事業として、本市の歴史遺産を未来へつなぐ仕組みと具体的な取組を明確にするとともに、計画的かつ持続的な歴史文化のまちづくりを実現することを目的として作成した。内容は別紙参照。

4. 歴史ルートづくり事業

(1) 高良山総合調査

高良山は古代より近世にかけて神仏習合の山として、また北部九州の政治・軍事拠点として栄えた。近代以降には、筑後地域を代表する観光名所の一つとなっている。

高良山の中核となる高良大社には、その長い歴史の流れとともに蓄積された多彩な歴史資料が伝来する。また、明治の神仏分離令に伴い、仏像や仏画、建築・石造物など寺院にかかる文化財は、高良山から市内外各所に移されている。多くは未調査、未指定文化財であり、総合的な状況把握と保存活用のための基礎資料作成を進めている。

平成29～令和元年度に国庫補助を受けて実施した第1次調査「高良大社所蔵歴史資料」に続き、令和2年度より第2次調査「福聚寺所蔵歴史資料」、第3次調査「旧高良山大猷院殿石燈籠」を開始した。特に前者は県費補助を受け、県・市指定の古文書及び墨跡の所在確認と保存措置を行った。

なお、第1次調査の成果を報告する市民向けのシンポジウムを令和2年度に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期した。

(2) 情報発信事業

令和3年(2021)の有馬豊氏久留米入城400年の節目に向けて、ストーリーシート7「有馬の城づくり、町づくり 其の壱～西部編～」を発行した。

イベントについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。

(3) 拠点管理事業

大塚古墳歴史公園及び大塚古墳の管理清掃、草刈り、樹木剪定を実施し、市民が来園しやすい拠点づくりに取り組んだ。

また、下馬場古墳の計画的な樹木伐採による史跡の保護に取り組んだ。

V. 文化財管理事業

1. 文化財保護団体育成補助事業

文化財保護課では、地域の文化財を保護育成するため、文化財保護団体や地域活動団体等へ補助金を交付している。

令和2年度は、13団体に補助金を交付した。

(1) 文化財保護団体 (10団体)

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| ①大善寺玉垂宮鬼夜保存会 | 重要無形民俗文化財「大善寺玉垂宮の鬼夜」管理団体 |
| ②花火動乱蜂保存会 | 県指定無形民俗文化財「動乱蜂」管理団体 |
| ③北野天満神社神幸行事保存会 | 県指定無形民俗文化財「北野天満神社神幸行事」管理団体 |
| ④草野風流保存会 | 市指定無形民俗文化財「須佐能袁神社の神幸行事」管理団体 |
| ⑤若宮八幡宮御神幸祭実行委員会 | 市指定無形民俗文化財「若宮八幡宮の神幸行事」管理団体 |
| ⑥御井町風流保存会 | 市指定無形民俗文化財「御井町風流」管理団体 |
| ⑦八丁島御供納保存会 | 市指定無形民俗文化財「八丁島の御供納」管理団体 |
| ⑧満月会保存会 | 市指定無形民俗文化財「十五夜さん大綱引き」管理団体 |
| ⑨高良山同志会 | 市指定無形民俗文化財「高良山獅子舞」管理団体 |
| ⑩ヒナモロコ郷づくりの会 | 市指定天然記念物「ヒナモロコ」管理団体 |

(2) 研究会・文化財を活かした地域活動団体 (3団体)

- ①久留米郷土研究会
- ②山川校区郷土研究会
- ③田主丸郷土会

2. 文化財施設・史跡等管理事業

文化財保護課が所有している施設及び指定史跡を4団体及び個人1名と随意契約にて管理委託し、指定史跡2箇所(草刈り)については、指名競争入札により業者に業務委託している。

(1) 指定文化財の管理業務

【団体委託】

- | | | |
|----------|------------|-------------------------------|
| ・浦山古墳 | 国指定史跡 | 保存庫の施錠管理、見学者の対応。成田山久留米分院 |
| ・高良山神籠石 | 国指定史跡 | 高良山神籠石の清掃、見回り点検。高良大社 |
| ・日輪寺古墳 | 国指定史跡 | 保存庫の施錠管理、見学者の対応。日輪寺 |
| ・目安町の一里塚 | 市指定史跡天然記念物 | 市有地の草刈り、清掃を年3回実施。安武校区まちづくり振興会 |
| ・吉積遺跡公園 | 市指定史跡 | 公園内の草刈り、清掃、見回り点検。赤司一区自治会 |

【個人委託】

- ・大善寺旧庫裡 市指定有形文化財（建造物） 旧庫裡の施錠管理、清掃、点検。個人

【業者委託】

- ・筑後国府跡 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年4回実施
- ・安国寺甕棺墓群 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年4回実施
- ・田主丸大塚古墳 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃、消毒、施肥。年3回実施

(2) 歴史公園管理業務

以下の施設の管理業務について、地域団体等に委託している。

- ・おおはし歴史公園 県指定有形文化財（建造物）である石浦大橋を含む公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・御塚・権現塚史跡の広場 国指定史跡である御塚古墳、権現塚古墳と公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・大塚古墳歴史公園 国指定史跡である田主丸大塚古墳に隣接する歴史公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃

3. 防犯・防災事業

(1) 文化財防火デー

文化財愛護に関する意識の高揚を図る目的として、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定めており、例年、久留米市でも関係機関とともに訓練を実施している。令和2年度は令和3年1月に高良大社での開催を予定していたが、新型コロナの影響により中止した。

(2) 防災施設設置及び管理事業

文化財を火災から守るための防災施設の保守点検等に関する補助金を交付している。

令和2年度は、次のとおり補助金を交付した。

・梅林寺有馬家霊屋	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	梅林寺
・高良大社本殿他	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	高良大社
・善導寺木造善導大師坐像他	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	善導寺
・専念寺木造阿弥陀如来立像	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	専念寺
・無量寺木造阿弥陀如来立像	重要有形文化財	防災設備保守点検事業	無量寺
・国分寺地蔵来迎図板碑	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	国分寺
・朝日寺木造神子栄尊坐像	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	朝日寺
・須佐能袁神社本殿、拝殿及び楼門	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	須佐能袁神社
・鹿毛家住宅	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	個人
・上野家住宅御成間	県指定有形文化財	防災設備保守点検事業	個人

VI. 歴史資料保存活用事業

昭和 58 年（1983）4 月に設置した久留米文化財收藏館を中心に、博物館資料の調査・収集・保存・活用を進めている。

令和 2 年度の資料の収集は、寄贈 8 件（387 点）、寄託 2 件（31 点）、購入 1 件（6 点）、採集 7 件（735 点）であった。

資料の活用は、貸出 10 件（136 点）、印刷物掲載等 67 件（429 点）、これ以外に研究利用等を目的とした閲覧や写真撮影 12 件（95 点）にも対応している。

1. 資料の収集・保存

（1）収集

①寄贈（387 点）

資料群名	時代	寄贈者	数量（点）
今村哲朗家資料	明治～昭和戦前期	今村 哲朗	5
森久家資料（第 1 次）	昭和 40 年代後半	森 久	4
江崎家資料（第 3 次）	明治～昭和戦後期	江崎 幸一	294
伊福家資料（第 1 次）	大正～昭和戦前期	伊福雅	2
河原俊治家資料	昭和 12 年～19 年	河原俊治	48
坂本繁二郎伯筆「馬之図」	昭和 35 年	東原日出人	1
細見家資料（第 1 次）	明治～昭和戦前期	細見聡	22
森久家資料（第 2 次）	昭和戦後期（30 年代後半以降）	森 久	11

②寄託（31 点）

資料群名	時代	寄託者	数量（点）
久留米つつじ関連資料	大正～昭和戦前期	（一財）久留米市みどりの里づくり推進機構 理事長 中島年隆	30
銅矛	弥生時代	麦生区長 鳥越 郁夫	1

③購入（6 点）

資料名	時代	数量（点）
三谷有信「風景スケッチ」	明治時代	6

④採集 (735 点)

資料名	時代	数量(点)
久留米大学前駅開業記念入場券及び 久留米高校駅前記念切符	平成 12 年及び平成 21 年	3
福田家資料 (第 1 次)	江戸時代～昭和戦後期	433
福田家資料 (第 2 次)	大正時代～昭和戦後期	237
円盤型版木ほか採集資料	江戸時代以降	17
雑誌「ミセス」・ナショナル蛍光灯	昭和 28 年～昭和 40 年	31
スチームアイロン	昭和 40 年代	1
フィルム	平成時代	13

④刊行物

- ・ 寄贈図書：162 冊
- ・ 定期購読：20 冊
- ・ 『月刊文化財』No.679～686 (第一法規株式会社)
- ・ 『博物館研究』Vol. 55・No.4～Vol. 56・No.2、Vol. 55・別冊 (公益財団法人日本博物館協会)

(2) 保存

①燻蒸

- ・ 高良内文化財収蔵庫 (久留米市高良内町 607)
 - 期 間：令和 2 年 8 月 11 日～12 日
 - 場 所：1 階収蔵庫 床面積 188.44 m²×高さ 3.6m=679.428 m³
 - ・ 三潞文化財収蔵庫 (久留米市三潞町玉満 2942-1)
 - 期 間：令和 2 年 8 月 11 日～12 日
 - 場 所：1 階収蔵庫 床面積 380.3 m²×高さ 3.0m=1140.9 m³
- 薬剤は、殺虫効果、忌避効果、即効性に優れた燻蒸薬剤ミラケン GX を使用

2. 資料の活用

(1) 貸出 (136 点)

期間	機関名	目的	資料名等	数量
6 月 11 日～ 令和 3 年 3 月 31 日	(有) 荒木設計 事務所	旧西分館改修の参考に するため	旧西分館報告書	1
7 月 16 日～22 日	久留米市立金 丸小学校	平和学習の講和で使用	爆弾片 他	4

期間	機関名	目的	資料名等	数量
9月11日～ 令和3年1月14日	公益財団法人 有馬記念館保 存会	企画展「有馬入場前夜シ リーズⅡ～小早川・田中 の時代」	土田右衛門尉・平田次右 衛門尉連署奉書、他	15
令和3年1月12日～ 4月16日	公益財団法人 有馬記念館保 存会	企画展「人形づくり、春 づくり」	唐草龍胆車紋蒔絵手箱、 他	94
令和3年1月21日～ 1月28日	個人	写真掲載のため	久留米市住宅詳細図	1
令和3年3月下旬～ 5月末日	株式会社 NHK エンタープライ ズ中部支社	「玉屋庄兵衛の世界」展 示のため(横浜高島屋)	弓曳き童子、文字書き人 形	2
令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	久留米市人権 啓発センター	人権啓発センター常設 展示室	太鼓	1
4月21日～7月下旬	小郡市教育委 員会	企画展「むかしのまなび 舎」	学校新築願 他	2(1)
4月7日～8月6日	公益財団法人 有馬記念館保 存会	久留米入城 400 年記念 企画展1「久留米藩主有 馬家歴代」	起請文 他	14
令和4年1月下旬～ 3月下旬	株式会社 NHK エンタープライ ズ中部支社	「玉屋庄兵衛の世界」展 示のため(JR 名古屋高 島屋)	弓曳き童子、文字書き人 形	2

(2) 印刷物掲載等 (429点)

許可日	申請機関等	目的	資料名等	点数
4月7日	個人	インターネット上での外部情報 提供	浮羽郡辞書、浮羽郡案 内	2
4月7日	個人	田主丸の虫追い祭りに関する 調査 等	虫追ニ付諸造用割賦帳 蔵八・蔵成・松原村 他	7
4月10日	久留米部落史研究 会	「部落解放史くるめ」掲載のため	「部落解放史くるめ『覚 蓮寺文書』を読む	1
4月21日	一般財団法人産業 遺産国民会+議	産業遺産情報センターにおい て展示するパネルに使用のため	田中久重肖像、 田中久重・近江夫妻肖 像写真	2
4月24日	個人	令和3年開催の日本医学史学 会発表資料として	従三位有馬頼成公病 状・医学開業願	2
4月30日	小郡市立立石小学 校	小学校社会科副読本「よいこの 社会科」に掲載のため	滑り台に遊ぶ草野尋常 小学校生徒 他	9

許可日	申請機関等	目的	資料名等	点数
5月 25 日	株式会社サガテレビ	番組制作	筑後川下流航空写真	1
6月 16 日	株式会社図書館流通センター	港区市史編纂(出版物)及び港区のあゆみ(Web 版)掲載のため	久留米藩上屋敷図	1
6月 30 日	個人	「六ツ門大学」古文書講座資料として使用	コレラ猷全図	1
6月 30 日	個人	「江戸からくり 巻 5 弓曳武者人形復元」掲載	弓曳き童子写真(全体・部分)、田中近江図案巻 2(「からくり儀衛門展」図録 20・24P)	4
7月 3 日	久留米市隣保館	令和 2 年 8 月号「隣保館だより」掲載のため	写真「現第一勸銀から見る(昭和 20 年 8 月)」	1
7月 7 日	個人	西南学院大学講義にて使用	千人針腹巻 他	5
7月 13 日	久留米市教育集会所運営委員会連絡協議会	「教育集会だより」R2.8 月号掲載	写真「現第一勸銀から見る(昭和 20 年 8 月)」	1
7月 20 日	株式会社ツクリテ	「cocomi」8 月号に掲載するため	写真「明治初年の久留米城」他	4
7月 20 日	西日本新聞社久留米総局	報道目的使用	軍用 12.7mm 機銃曳光弾	1
7月 21 日	個人	田主丸の虫追いに関する調査他	虫追入費賦課帳 他	15
8月 3 日	株式会社かみゆ	イカロス出版「廃城をゆく 7」掲載のため	写真「久留米城(明治初期)」、縄張図「久留米市街図(延宝 8 年製図)」	2
8月 3 日	RKB 毎日放送	番組制作のため	写真「久留米高等女学校」	1
8月 3 日	公益財団法人有馬記念館保存会	企画展における写真パネル展示・広報印刷物	田中吉政興廃記全写他	17
8月 13 日	個人	レポートのため	拾瓊算法巻之二、三、四	1
8月 17 日	西日本新聞社久留米総局	西日本新聞筑後版に掲載	現第一勸銀から見る(『カメラがとらえた久留米の 100 年』より)	1
8月 17 日	西日本新聞社久留米総局	西日本新聞筑後版に掲載	娼妓所得金日記帳	1
9月 17 日	株式会社佐賀広告センター	三重津海軍所PR用動画・県内公共施設 WEB サイト使用	田中久重夫婦肖像写真	1
9月 19 日	協同組合 久留米建築設計協会	自社ホームページ業務実績への掲載	旧三島家長屋門、坂本繁二郎生家の画像データ	2

許可日	申請機関等	目的	資料名等	点数
10月16日	TVQ九州放送	番組制作のため	ドイツ兵捕虜関係写真	10
10月20日	松尾ハム株式会社	広告(店舗掲示および website 掲載)のため	ドイツ兵俘虜収容所関係写真	1
10月22日	個人	研究のため、卒業論文へ掲載のため	籃胎漆器重箱、川崎峰次郎関連籃胎漆器	54
10月22日	飯塚市教育委員会	企画展「謎の古代遺跡 鹿毛馬神籠石展」パネル・映像掲載のため	高良山神籠石写真	3
10月26日	株式会社オフィス303	『調べよう!47 都道府県 郷土の発展につくした先人』掲載のため	弓曳き童子	1
10月27日	個人	研究のため、卒業論文へ掲載のため	丸盆 他	10
11月4日	個人	『お江戸に恋して』放送のため	弓曳き童子写真	1
11月9日	個人	古文書講座に使用のため	江戸勤番中控 但往来共ニ	1
11月16日	公益財団法人有馬記念館保存会	企画展「人形づくし、春づくし」展示にかかる広報印刷物	唐草龍胆車紋蒔絵手箱 他	94
11月19日	久留米観光コンベンション国際交流協会	協会 HP「ほとめきの街久留米」掲載のため	写真「久留米城・良櫓・月見櫓・巽櫓」	1
11月24日	株式会社 RKB 映画社	台湾向け番組「SAMURAI KYUSHU」久留米市の偉人田中久重紹介	弓曳き童子、文字書き人形	5
11月27日	日本経済新聞社 The STYLE 編集部	日本経済新聞紙面掲載のため	ドイツ兵捕虜関係写真	2
12月4日	個人	「座談会 有馬氏入城400年 遺した文化を語る」(『筑後地域文化誌 Agena Dogena(あげなどげな)』19号)に掲載	田中吉政肖像写、他	4
12月4日	個人	研究のため、卒業論文へ掲載のため	籃胎漆器菓子器 他	17
12月7日	TVQ九州放送	番組制作のため	ドイツ兵捕虜関係写真	10
12月14日	個人	田主丸の歴史に関する調査	地形図・田主丸(二万分之一)	9

許可日	申請機関等	目的	資料名等	点数
1月 4日	個人	学術書『流布本「保元物語」「平治物語」にみる物語の変遷と背景-室町末・戦国期を中止として-』に収録論文に掲載のため	合戦絵巻	1
1月 4日	個人	個人の SNS (Twitter) にて、久留米城に関するツイートの際の添付画像として使用する	写真「久留米城 長櫓・月見櫓・巽櫓」、久留米城跡測量図	2
1月 8日	個人	「座談会 有馬氏入城 400 年 遺した文化を語る」(『筑後地域文化誌 Agena Dogena(あげなどげな)』19号)に掲載	写真「明治初年の久留米城」	1
1月 20日	中外日報社	中外日報紙面掲載のため	「有馬家霊屋」梅林院霊屋正面	1
1月 21日	個人	情報紙掲載のため	『カメラがとらえた久留米の100年』写真	21
2月 3日	個人	史料叢書に翻刻文掲載のため	「大津遠太記録」	1
2月 5日	読売新聞久留米支局	新聞記事作成のため	軍艦千歳関連資料	7
2月 8日	個人	調査及びインターネット公開	農人錦之囊全(写) 他	3
2月 10日	伝統文化実行委員会	「市内旧筑前街道沿いの身近な”たからもの”」掲載のため	短刀 銘「筑州鯨坂住安盛」	1
2月 10日	寝屋川市	広報誌・YouTube 掲載のため	田中久重肖像画	1
2月 16日	公益財団法人有馬記念館保存会	令和3年度年間スケジュールに掲載のため	練革黒漆塗白糸威五枚胴具足 他	4
2月 26日	公益財団法人有馬記念館保存会	久留米入城 400 年記念企画展 1「久留米藩主有馬家歴代」にかかる広報媒体及び制作物	起請文 他	14
3月 1日	久留米大学総合企画部広報室	2020 年度久留米大学オープンキャンパス模擬授業(Web)資料に使用のため	弓曳き童子	1
3月 7日	西日本新聞社久留米総局	西日本新聞に掲載するため	「文中三年菊池氏高良山籠城」絵図	1
3月 8日	佐賀市	三重津海軍所跡現地学習シート	田中久重写真	1
3月 9日	個人	古文書講座に使用のため	旅船出入帳	1
3月 10日	個人	個人史に掲載のため	久留米市役所旧庁舎写真	1

許可日	申請機関等	目的	資料名等	点数
3月10日	株式会社 VSQ	「華丸・大吉のなんしょうと？」にて使用のため	ドイツ俘虜収容所写真	9
3月12日	個人	田主丸の歴史に関する調査及びインターネット公開	福岡県の苗木 他	21
3月15日	小郡市教育委員会	企画展「むかしの学び舎」に掲載	桃島石梁肖像画	1
3月15日	個人	『ちくぎん地域経済レポート』に掲載のため	ドイツ兵捕虜関係写真 他	7
3月15日	NPO 法人久留米ブランド研究会	久留米入城 400 年記念の日本酒ラベル・広報用チラシに掲載するため	天保年間久留米城下、 篠山城図 他	4
3月24日	FBS 福岡放送 めんたいワイド	FBS めんたいワイドにて久留米城跡「篠山神社」紹介	明治初期の久留米城本丸(久留米城 良櫓・月見櫓・巽櫓) 他	2
3月25日	株式会社ヨシマサ	新店舗にて動画看板の設置及び店内にて掲示のため	久留米藩領図 他	11
3月29日	佐賀市歴史・世界遺産課	三重津海軍所跡ガイダンス施設常設展示のため	田中久重肖像写真	1
3月31日	月刊九州王国編集室	月刊九州王国にて記事掲載	牛島謹爾肖像・農園風景・邸宅写真 他	2
3月31日	小郡市教育委員会	企画展「むかしの学び舎」に掲載	「屏山文庫」 他	3

以上

VII. 文化財の活用・周知普及

1. 公開・活用事業

(1) 久留米市立六ツ門図書館展示コーナー

平成 22 年 10 月、久留米市立中央図書館西分館が「くるめりあ六ツ門」5階に移転し、六ツ門図書館として開館した。この館内に展示コーナーが設置され、当課が運営を担当している。

同展示コーナーは、100㎡を常設展、168㎡を企画展のスペースとする。常設展は、造り付けの居間および台所に、家具や生活用品などを揃えて、昭和 30 年代の暮らしの風景を再現している。企画展は、令和 2 年度は当課主催 2 回、他部局主催 1 回を開催した。

また、例年、むかしの暮らし展において小学校の団体見学を受け入れているが、令和 2 年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から団体見学の受け入れを中止した。その代替措置として、動画を製作しインターネットで配信、学校教育を支援した。

令和 2 年度企画展一覧

No.	展示会名	会期	来場者数(人)
1	久留米市収蔵資料展 2020 平和・祭典・人々の暮らし	10月3日～12月6日	1,023
2	高校生が描く世界人権宣言展	12月12日～12月27日	83
3	むかしの暮らし展 着る・食べる・住まう	1月23日～3月21日	2,194
4	常設展示	5月19日～3月31日	8,542
総入館者数			11,842

* 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から 4 月 1 日～5 月 18 日は臨時休館
* 主催は、2 は協働推進部人権啓発センター、1・3・4 は文化財保護課

令和 2 年度動画配信

No.	展示会名	会期	再生回数
1	むかしのどうぐ動画配信	1月19日～3月31日	2,024

* むかしの暮らし動画は、久留米市公式 YouTube チャンネルにて配信中

(2) 久留米市埋蔵文化財センター

体験学習会

無害ハンダを流して寛永通宝や和鏡レプリカを成形するシリコン鋳型を作成し、体験学習会「久留米城下にタイムスリップ」を開催。同時に遺跡や地元の歴史への理解を深めるためのパネルを作成した。

「久留米城下にタイムスリップ」(会場：安武校区コミュニティセンター)

体験学習会開催日：令和3年3月25日

※ 企画展は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(3) 坂本繁二郎生家活用事業

坂本繁二郎生家は、近代洋画の巨匠である坂本繁二郎の生家であると同時に、久留米市に唯一残る武家屋敷である。その地域的重要性により、平成15年7月に久留米市有形文化財(建造物)に指定された。平成18年度から平成21年度までの4年間をかけて修理復原工事を行い、平成22年5月1日から一般公開をしている。生家では、年間を通じて様々な体験講座を開催しており、文化財の周知普及に努めている。

【令和2年度】年間来場者数 2,236人 開館日数 254日 1日平均来場者数 8.8人

※令和2年4月1日(水)～5月31日(日)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

<季節行事>

	期間	内容
七夕まつり	令和2年7月3日(金)～ 8月7日(木)	来館者が短冊に願い事を書いて笹竹に飾る
ひなまつり	令和3年1月26日(火)～ 4月4日(日)	坂本家に伝わる雛人形を展示

<体験事業>

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため体験講座の実施なし

(4) 第8回からくり儀右衛門大賞小中学生創作作品展

新型コロナの影響により「久留米市理科作品展」が中止されたことから、からくり儀右衛門大賞の募集ならびに作品選考等を中止した。

(5) 第28回全国重要無形文化財保持団体秀作展

重要無形文化財久留米餅を有する久留米市が加盟している全国重要無形文化財保持団体協議会(略称「全重協」)において、美濃市にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止により延期となった。

2. 協働・支援活動

(1) 出前講座

市民向け講座として実施している「出前講座」は、全庁的に取り組んでいる制度で、文化財保護課では「私のまちの歴史と文化財」「歴史を体験」の従来の2つのメニューに、令和2年度からは翌年に迎える初代久留米藩主有馬豊氏の久留米入城400年をPRする目的で「久留米入城400年に向けて」を加え、3つのメニューで実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月以降に出前講座を再開したこともあり、例年に比べると件数は大幅に減り、キャンセルも3件あったが、計25回の出前講座を実施した。

なお、112講座メニューの中で、利用されたメニュー第1位が「私のまちの歴史と文化財」、第3位が「久留米入城400年に向けて」であった。

①私のまちの歴史と文化財

開催回数：14回

受講人数：422名

主な内容：校区コミュニティセンターの委嘱学級や市民団体を対象に、校区の歴史、久留米市の歴史、また個別テーマを設けて講座を開催。

②久留米入城400年に向けて

開催回数：8回

受講人数：251名

主な内容：校区コミュニティセンターの委嘱学級や企業、市民団体を対象に、主に久留米城や城下町の成り立ち、久留米藩主有馬氏に関する講座を開催。

③歴史を体験

開催回数：3回

受講人数：112名

主な内容：校区の土曜塾による、勾玉づくりや石臼によるきな粉作りなどの体験学習を開催。

(2) 学芸員実習受け入れ

受入期間：令和2年8月17日～25日（うち7日間）

受入人数：久留米大学生2名

受入施設：久留米文化財収蔵館、久留米市埋蔵文化財センターほか

(3) えーるピア久留米展示

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催せず。

3. 刊行物等

(1) 久留米市文化財調査報告書

9冊の文化財調査報告書を刊行。

1. 久留米市文化財調査報告書第399集『国指定史跡筑後国府跡 - II期政庁地区 - 』
2. 久留米市文化財調査報告書第424集『安武遺跡群1 - 安武三反野遺跡第4次調査 - 』

-今泉遺跡第6・7次調査-』

3. 久留米市文化財調査報告書第425集『南薫西遺跡 -第10次発掘調査報告-』
4. 久留米市文化財調査報告書第426集『筑後国府跡 -第297次発掘調査報告-』
5. 久留米市文化財調査報告書第427集『令和2年度 久留米市内遺跡群』
6. 久留米市文化財調査報告書第428集『筑後国府跡 -第304次発掘調査報告-』
7. 久留米市文化財調査報告書第429集『久留米市埋蔵文化財調査集報21』
8. 久留米市文化財調査報告書第430集『夫婦塚遺跡 -第3・4・5・6次調査-
大善寺北部地区遺跡群Ⅶ』
9. 久留米市文化財調査報告書第431集『京隈侍屋敷遺跡 -第30・31次発掘調査報告-』

(2) その他の刊行物

①収蔵館ニュース

収蔵資料の調査・収集・保存・活用について紹介するため、平成元年度より年1回発行。同17年度に『仮称 久留米歴史博物館準備だより』より改題。令和2年度は第17号を発行（改題通算43号）。